

2014 年度後期タイトルレポート

2014 年度後期タイトルが決定致しましたので、
この場をお借りして公表させていただきます。

【2014 年度後期全国統一タイトル】

「薬事論題」

*What policy should the Japanese Government
adopt concerning Drug issues?*

日本政府は薬事問題に対しどのような政策をとるべきか？

【メイントピック】

タバコ (Cigarette)

大麻 (Marijuana)

抗がん剤 (Anticancer Drug)

【全国タイトル会議の概要】

各トピックについての考察を示す前に、TDF,JIDM,KDL による全国タイトル会議の概要を以下にまとめる。

➤ 薬事問題の選定理由

各団体で挙げられたタイトル案としては、薬事問題のほか、軍事問題、労働問題が挙げられた。

後期タイトルの選定基準として、取り組みやすいトピックであること、および PDD および Problem Solvency Format のエデュケーションがしやすいこと、が挙げられた。後期からは一年生が本格的に参加し始めるために、PDD の構造が分かりやすく、一年生にとっても身近で興味をもちやすいという点を重視した。また、スキルアップをしたい2年生の練習にもなるよう配慮した。

軍事問題はエデュケーションに向いていないこと、および身近さの点で薬事問題より劣っていた。労働問題はエデュケーションに向いてはいるものの、興味を持ちにくいという点で薬事問題に劣っていた。以上より、薬事問題を選定した。

➤ どんな Discussant になってほしいか

一年生は今期から本格的に取り組む始められるので、まずは Policy Determining Discussion がどのようなものか、そしてそのメジャーなフォーマットである Problem Solvency Format がどのような構造をしているのかをつかんでいてほしい。このような思いから、構造理解に向いており、かつ興味が湧きそうで、二項対立があり、論点がクリアで自分のスタンスを示しやすい薬事問題を選定している。

また二年生は、今期からディスカッションにおいて中心になっていく存在であり、スキルアップを目指して行くことと思われる。一年生がテーブルで発言するのをうまくトリートする練習や、議事進行能力をのばして行って欲しい。このような思いから、スキルアップに向けたトピックをいくつか選定している。

【Model Opinion Sheets】

タバコ <Cigarette>

〈肺がん〉

Cause: The Japanese Government admits Cigarette.

Problem: Cigarettes exist.

Harm: Smokers suffer mentally by lung cancer.

Direction: The Japanese Government should ban Cigarette.

Mandate: The Japanese Government makes a new law.

Advantage: Smokers will not suffer mentally by lung cancer.

〈受動喫煙〉

Cause: The Japanese Government admits Cigarette.

Problem: Japanese National smokes Cigarette.

Harm: Passive smokers suffer mentally.

Direction: The Japanese Government should help passive smokers.

Mandate: The Japanese Government makes a new law.

Advantage: Passive smokers don't suffer mentally.

タバコは身近な嗜好品であろう。そしてその中毒性および有毒性をご存知の通りである。大学という環境のなかで、吸い始めた人が身近にいるのではなかろうか。今回は身近で取り組みやすく、PDDの構造理解に向いているこのトピックを選定させていただいた。議論を通して各々の価値観を積極的に出していくことが期待される。タバコに関して、2種類のモデルオピニオンシートを用意させていただいた。以下両者について簡単なコメントを用意した。

〈肺がん〉のオピニオンシートに関して

Analysis of the Status Quo が比較的シンプルであり、Advantage を得やすく、Comparison まで到達しやすいのがこのオピニオンシートの特徴である。Problem Solvency Format や PDD そのもの大枠、全体像をつかむのに適しており、一年生に向けてのエデュケーションにふさわしいと考えた。タバコを廃止した際には、喫煙者以外にもたばこによる税収減などのさまざまなデメリットが考えられる。多様な視点をディスカッションにもたらしめて欲しいと考える。

〈受動喫煙〉のオピニオンシートに関して

肺がん問題に比べ、タバコを禁止する必要性が低く、さまざまな Mandate が考えられよう。一年生へはオピシ作り等における様々なマンドートアイデアの反映、二年生へは前述のように多様なプランが生まれる可能性を踏まえ、スパイクプランやカウンタープランのハンドリング能力向上が期待される。議論としては、個人の幸福追求権と公共の福祉のバランスなどが話されると期待される。

大麻 <Marijuana>

Cause: The Japanese Government does not admit Marijuana.

Problem: Marijuana is illegal in Japan.

Harm: Japanese National suffers mentally.

Direction: The Japanese Government should admit Marijuana.

Mandate: The Japanese Government makes (abolishes or amends) a law.

Advantage: Japanese National does not suffer mentally.

脱法ハーブや芸能人の麻薬使用などドラッグによる事件が後を断たない中、オランダやアメリカの一部の州のように近年国際的な大麻の合法化が進んでいる。こういった日本の現状や世界の流れを踏まえ、大麻の位置づけを問い直す時が来ていると考える。大麻に関して、大麻の心身への影響、医者による医療用大麻の処方、反社会勢力の存在

などの論点やキャラクターの多様であると考え、議論において AD, DA が豊富で、コンパリソンでの盛り上がりが予想される。1・2 回生にはコンパリソンを経験することによって、problem-solvency format の構造やコンパリソンの理解を深めてほしい。たばこと比べ、リサーチ力や、対立するエビデンスの取り扱いなどのスキルが求められよう。

抗がん剤 <Anticancer Drug>

Cause: The Japanese Government admit Anticancer Drug.

Problem: Doctor can use Anticancer Drug.

Harm: Patient suffer mentally by side effect of Anticancer Drug.

Direction: The Japanese Government should ban Anticancer Drug.

Mandate: The Japanese Government makes a new law.

Advantage: Patient will not suffer mentally by side effect of Anticancer Drug.

抗がん剤は、堪え難いほどの倦怠感や吐き気、脱毛などの強い副作用に対し、約 20% の患者にしか効果がないとされ、副作用によりむしろ寿命が縮まるとさえ言われている。薬剤としてはあまりに効果の低い抗がん剤を今後も認めていくべきかどうかは世論を分けている。わずかな治療の可能性に賭けて副作用の強い抗がん剤という選択肢を残しておくことの是非について議論していただきたい。また、現在の日本では他国に比べ、抗がん剤の認可が進んでおらず、認可の拡大を望む医師や患者も存在する。よって廃止と拡大という正反対の方向性で 2 種類のオピニオンシートが作れよう。このトピックは、抗がん剤そのもののリサーチに加え、患者の自己決定とその責任に対し、日本政府がどこまで干渉、保護すべきかを考えることになる。よって前 2 つのトピックよりも難易度が高くなることが予想される。スキルアップを狙う 2 年生にはぜひチャレンジしていただきたい。

【Regulations】

- 1, 日本政府による政策決定の範疇内であるものに限定する。
- 2, 日本政府が金を支出することのみで解決するマンデートは禁止とする。ただし、マンデートを執行する際の経費に関しては例外である。
- 3, 他のタイトル（労働問題、教育問題、医療問題、環境問題、刑事問題等）のメイントピックと重複するトピックは禁止とする。
- 4, 宗教に関わるものは禁止とする。
- 5, Evidence のソースを明確にすること。
例）新聞名、URL、本の著名、著者、等々。

※タイトルに関して何か質問等ございましたら以下の連絡先へお願い致します。

* Kansai Discussion League 連盟長 安保 敬司

gogogoabobo@yahoo.co.jp

* Tokyo Discussion Federation 連盟長 宇津木 孝志

takautsugi@gmail.com

* Japan Intercollegiate Discussion Meeting 委員長 宮澤 知花

miyachuu105.08@gmail.com